

「インクルーシブスポーツ」の推進について

《インクルーシブスポーツとは》

インクルーシブとは、障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず多様性を認め合い、すべての人々を包括 (inclusive) することを意味し、よって、誰もが一緒になってスポーツを楽しむことをインクルーシブスポーツと表現します。

《障がい者スポーツへの関心についての現状》

あま市スポーツ推進計画を策定するにあたり、次の4項目のアンケート調査を実施しました。

- ① 「障がい者スポーツへの関心について」
- ② 「障がい者スポーツに関心がない理由について」
- ③ 「障がい者スポーツの認知度について」
- ④ 「障がい者スポーツやパラリンピックの観戦機会について」

結果につきましては、

- ① 「障がい者スポーツへの関心について」(複数回答)
 - 関心がある：41.0%
 - 関心がない：40.4%
- ② 「障がい者スポーツに関心がない理由について」(複数回答)
 - 身近に障がい者スポーツに関わっている人がいないから：27.0%
 - どんな競技があるか知らないから：22.2%
 - とくに理由はない：21.0%
- ③ 「障がい者スポーツの認知度について」(複数回答)
 - 車いすバスケットボール：74.5%
 - 車いすテニス：70.2%
 - パラ水泳：57.9%
- ④ 「障がい者スポーツやパラリンピックの観戦機会について」(複数回答)
 - テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦または見たことがある：75.1%
 - 観戦いたことも、見たこともない：17.5%

【アンケート調査の結果を踏まえた今後の取組】

アンケート調査の結果を踏まえ今後、以下の取組が必要

- ・障がい者スポーツに関する情報発信
- ・障がいのある人への理解や交流の促進
- ・「インクルーシブスポーツ」の推進

上記の取組方についてどのように進めたらよいか、皆様のご提案や情報等をお聞かせ願いたいと思います。

《参考》本市の障害者手帳所持者数（令和3年度アンケート調査実施時点）

○令和3年度：4, 290人

（内訳）

- ・身体障害者手帳保持者： 2, 644人
- ・療育手帳所持者： 667人
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者： 979人

《市内の取組状況》

- ◎2月25日（日）にあまポーツクラブが「モルック体験教室」を甚目寺総合体育館で開催しました。
- ◎令和6年度に「オリンピック・パラリンピック市民応援事業」を実施し、同事業で「モルック体験会」を実施します。
- ◎3月24日（日）にプロバスケットボールチーム「ファイティングイーグルス名古屋」の協力をいただき開催する、『スポーツ観戦事業（あま市民デー）』において、「モルック体験会」を実施します。

《今後の課題》

- 1 スポーツ推進計画において令和14年度までに市内においてインクルーシブスポーツ等の教室を10教室（令和5年度から14年度の延べ回数）行うこととしている。開催にあたり、1回ごとに種目を変えるのか、それとも種目を限定するべきなのか？
- 2 障がい者と健常者が交流を図るためにはどのような仕組みが必要であるか？
- 3 現状、インクルーシブスポーツを指導及び補助する人材が不足しているが、人材を確保するためにはどのような方法があるか？
- 4 教室を開催した場合、参加者は集まるか？また、多くの参加者を集める方法は？